



2020年創立100周年に向けて — 『三方良し』の経営を実践 —

トップメッセージ

当社は2009年に、創立100周年の2020年に目指す企業グループ像を定め、以来その実現に向け日々取り組んでおります。ある調査結果によると、日本には創業100年以上の企業が実に2万数千社もあると言われ、これは世界の中でも抜け出た数字となっています。

当社も3年後には100年企業の仲間入りをすることになりますが、100年以上続く企業に共通する特徴は、環境の変化に柔軟に対応しながら顧客、取引先、従業員との信頼関係を重視することは勿論のこと、社会との関わりを重視し、信頼される経営を実践してきている点であると考えます。これは、近江商人の心得である「三方良し」すなわち、「買い手良し」、「売り手良し」、「世間良し」の3つの「良し」につながる、まさに、現在のコンプライアンス経営やCSR活動の原点ではないでしょうか。

当社は、ケミカル・カンパニーとして、地球にやさしい「化学」を志向した研究や技術開発を推進し、人と自然環境との調和に貢献できるような「ものづくり」に取り組んでいます。これら取り組みを通して、少しでも地球にやさしく、また、人々の生活や社会的価値の向上に資する新たな製品を社会に提供することこそが、当社に課せられた使命であり、強いケミカル・カンパニーへ進化する鍵となると考えております。

また、企業活動においては、多様な人材育成、男女共同参画、ワークライフバランスの充実等を実践して、社員にとっても働き甲斐のある社内環境の構築を目指していきます。

さらに、四日市公害やフェロシルト問題といった過去を肝に銘じて、常に『遵法精神を重んじた透明な経営』を行い、信頼されるケミカル・カンパニーであり続けるよう努力して参ります。

この報告書を通じて、当社の取り組みの一端をご理解いただければ幸いです。

石原産業株式会社
代表取締役社長

田中健一